

## 卸売業

回答企業29企業

## 概況

～業況判断DI値 大幅改善で推移～



今期の業況判断DI値は、前回調査比41.3ポイント上昇の24.1と大幅に改善し、前回調査予想値(10.3)を上回る結果となった。項目別では、売上・受注では48.3ポイント上昇の27.6、売上数量は34.5ポイント上昇の6.9、利益でも37.9ポイント上昇の6.9となった。

主要産業である令和6年度産りんご取扱いが本格化し、業況は好調に推移。米も市場価格が高騰し商況活発で売上増加となった。

## 分野別の状況

～総合的業況は大幅改善で推移～

米穀卸売業では外食産業や海外からの引合い強く市場価格が高騰。販売価格も高値で推移が見込まれている。

タイヤ卸売業は需要期となり売上増加するも、自動車販売業者の販売台数落ち込みの影響から総体的には悪化傾向との事。

令和6年度産りんごについては、品薄から産地価格高騰、市場価格も高値で推移しているが売上高や利益については総じて減少傾向であった。

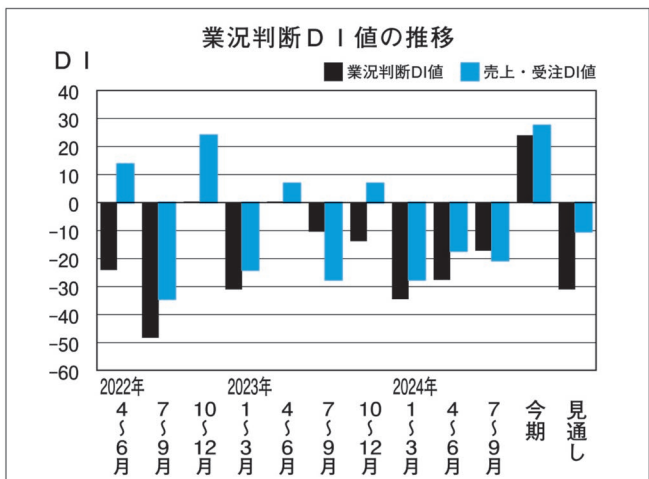
## 来期の見通し

～業況判断DI値 大幅悪化の見通し～



来期の見通し業況判断DI値は、今回調査比55.1ポイント低下の▲31.0と大幅悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で38.0ポイント低下の▲10.4、売上数量も31.0ポイント低下の▲24.1、利益でも31.0ポイント低下の▲24.1と悪化の見込みとなった。

年間を通して閑散期となるため各事業者とも悪化の見通しとなる。りんごは輸出が好調な時期を迎える事から期待大きい。



## 小売業

回答企業91企業

## 概況

～業況判断DI値 横ばいで推移～



今期の業況判断DI値は、前回調査比横ばいの▲2.2、前回調査予想値(▲2.2)と同様の結果となった。項目別では、売上・受注で11.0ポイント上昇の11.0、売上数量が8.8ポイント上昇の9.9、利益でも7.7ポイント上昇の▲2.2となり、すべての項目でやや改善となった。

季節要因やイベントから食料品・アルコール類を中心に販売好調に推移。自動車販売はやや低調に推移。燃料等小売は灯油の需要期となり売上は増加した。

## 分野別の状況

～総合的業況は横這いで推移～

冬季間に入り灯油販売は増加。ガソリン補助金縮小から値上げを実施したが販売数量や利益に影響はなかった。

タイヤ販売に於いては、卸売価格の値上ががあったが、業況は変化なく堅調に推移。

青果物2月は例年通り閑散期を迎える事が大きな要因となっている。販売では、りんごのシーズンに入り贈答用の販売が増加し業況堅調に推移した。

農機具店では農繁期が終了したことから、メンテナンスや修理依頼で売上は増加。農機具購入補助金審査が厳しくなったことから買換えは減少した。

## 来期の見通し

～業況判断DI値 やや悪化の見通し～



来期の見通し業況判断DI値は、今回調査比8.8ポイント低下の▲11.0と、やや悪化の見通しである。項目別では、売上・受注で14.3ポイント低下の▲3.3、売上数量は20.9ポイント低下の▲11.0、利益でも11.0ポイント低下の▲13.2となった。

年始や卒業シーズン等イベントもあることから飲食業については期待あるも、例年通り2月は閑散期となるため各事業者とも悪化の見通しである。

